

定置網漁獲統計調査

久野正博

目的

定置網に関する詳細な漁況情報を蓄積することにより、資源管理を行っていくための基礎資料とする。

方法

三重県内の大型定置網漁場のうち、波切・片田・和具・阿曾・贅浦・方座・錦・長島・島勝・九鬼1号・九鬼2号・早田・梶賀・磯崎・木本・阿田和1号・阿田和2号の17漁場を対象に令和3(2021)定置年度(令和3(2021)年10月~令和4(2022)年9月)の魚種別漁獲量を調査した。

結果及び考察

詳細については令和3定置年度三重県ブリ定置漁獲統計で報告したので、以下は結果の概略を示す。

令和3(2021)定置年度の総漁獲量は8,184トンで前年度の124.3%、過去10年平均の133.5%であった。魚種別ではブリ(6kg以上の銘柄)が4,202トンで全魚種の51.3%を占めた。次いでワラサ(2~6kg)が1,163トン、マアジが614トン、サバ類が426トン、シイラが274トンの漁獲があり、上位5種で全体の81.6%を占めた。

漁獲量10トン以上の魚種の中で前年度と比較して漁獲が増加したのは、サバフグ類(前年度比5.9倍)、シイラ(同3.9倍)、マグロ類(同2.3倍)、ワラサ(同2.1倍)、ヘダイ(同1.7倍)、ケンサキイカ(同1.5倍)、マアジ(同1.5倍)、ブリ(同1.5倍)、その他アジ類(同1.4倍)、チダイ(同1.3倍)、カンパチ(同1.2倍)、イナダ(同1.1倍)等であった。

逆に減少した魚種は、サワラ(前年度比30%)、スルメイカ(同32%)、ウスバハギ(同33%)、ウルメイワシ(同40%)、タチウオ(同48%)、マイワシ(同52%)、サバ類(同58%)、ヒラソウダ(同62%)、マダイ(同73%)、ムツ(同75%)、マルソウダ(同78%)、イシダイ(同83%)、アカカマス(同89%)、カタクチイワシ(同90%)等であった。

ブリ(6kg以上)の全漁獲尾数は、620,027尾(前年度の174%)で、過去50年で最大の漁獲尾数であった(図1上段)。ブリのまとまった入網は3月下旬から4月下旬に集中してみられ、4月だけで全体の61%、3月~4月では全体の97%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は、4月17日の41,573尾でこれは過去50年の最多記録となった。次いで3月28日の34,652尾、

表1. 全漁場魚種別漁獲量

令和3(2021)年10月~令和4(2022)年9月			
順位	魚種名	漁獲量(kg)	相対度数(%)
1	ブリ	4,202,443	51.347
2	ワラサ	1,162,659	14.206
3	マアジ	613,682	7.498
4	サバ類	426,094	5.206
5	シイラ	273,845	3.346
6	カタクチイワシ	154,206	1.884
7	サバフグ類	139,688	1.707
8	その他アジ類	121,792	1.488
9	イサキ	99,594	1.217
10	イナダ	92,855	1.135
11	カンパチ	88,873	1.086
12	サワラ	82,792	1.012
13	マルソウダ	66,136	0.808
14	スルメイカ	48,098	0.588
15	マダイ	47,082	0.575
16	イワシ類	43,402	0.530
17	ヤマトカマス	34,481	0.421
18	ウスバハギ	32,920	0.402
19	イシダイ	30,557	0.373
20	ムツ	28,604	0.349
21	ヒラソウダ	28,191	0.344
22	マグロ類	26,465	0.323
23	ウルメイワシ	25,114	0.307
24	メジナ	23,426	0.286
25	アカカマス	15,353	0.188
26	タチウオ	15,223	0.186
27	マイワシ	12,918	0.158
28	ヘダイ	12,498	0.153
29	ケンサキイカ	11,504	0.141
30	チダイ	10,367	0.127
31	アオリイカ	9,013	0.110
32	ハガツオ	8,054	0.098
33	ヒラマサ	7,987	0.098
34	ツバス	7,699	0.094
35	カワハギ	7,615	0.093
36	トビウオ類	7,100	0.087
37	ヒラメ	6,532	0.080
38	コショウダイ	5,666	0.069
39	カツオ	4,192	0.051
40	カマス類	3,000	0.037
41	クロダイ	2,071	0.025
42	ウマヅラハギ	1,903	0.023
43	マトウダイ	1,689	0.021
44	マルアジ	1,409	0.017
45	スズキ	1,304	0.016
46	ヒラスズキ	968	0.012
47	ボラ	876	0.011
48	その他イカ類	828	0.010
49	ヤリイカ	33	0.000
50	その他雑魚	135,633	1.657
	合計	8,184,434	100.000

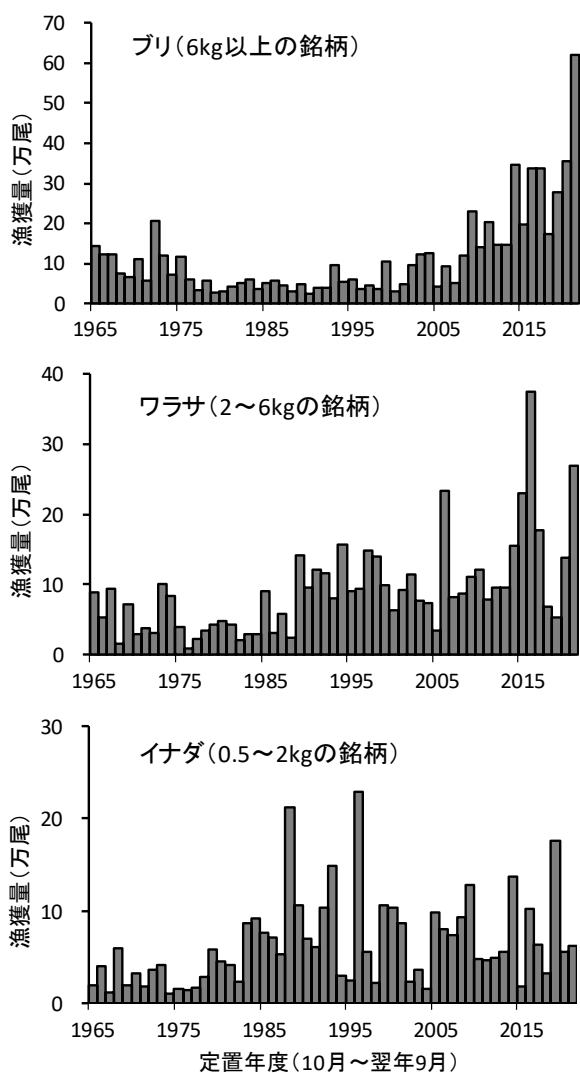


図1. ブリ銘柄別の漁獲尾数の推移(1965~2021 定置年度). 上段がブリ(6kg以上の銘柄), 中段がワラサ(2~6kgの銘柄), 下段がイナダ(0.5~2kgの銘柄).

4月20日の32,955尾, 4月13日の29,264尾, 3月30日の28,631尾, 4月21日の28,258尾, 3月31日の27,986尾, 3月25日の26,843尾, 3月24日の25,122尾であった。一昨年に11日、昨年は13日あった1万尾以上の漁獲は26日に増加し, 記録的な豊漁となった。

ワラサ(2~6kg未満)の全漁獲尾数は, 269,119尾(前年度の196%)で, 過去50年で2番目の漁獲尾数であった(図1中段)。ワラサの入網は4月上旬から断続的に続き, 4月下旬から5月上旬にまとまった。また, 6月から7月にも1日5,000尾以上の大漁日が見られた。4月は全体の32%, 5月は35%, 6月は13%, 7月は10%で, この4か月で全体の90%が漁獲された。全漁場合計の1日の最高漁獲尾数は, 5月5日の20,848尾であった。次いで6月23日の11,296尾, 4月25日の10,973尾, 4月29日の10,382尾, 4月24日の10,371尾, 4月26日の10,066尾, 5月6日の9,937尾であった。過去3年は連続して1万尾以上の漁獲が1日もなかったが, 今期は1万尾以上の漁獲が6日みられ, 平成28(2016)定置年度に次ぐ豊漁となった。

イナダ(0.5~2kg)の全漁獲尾数は, 86,544尾(前年度比113%), 当歳魚が主体となる8月~9月を入れない集計期間では61,943尾(前年度比112%)であった。前年度に引き続き近年ではやや低調な漁獲で, 年度の合計では過去50年で19番目の漁獲尾数であった(図1下段)。

関連報文

三重県(2023): 令和3定置年度 三重県ブリ定置漁獲統計.

久野正博(2023): 三重県熊野灘沿岸の定置網における漁獲物組成の変化. 黒潮の資源海洋研究, 23, 61-65.

久野正博(2023): 2022年春季の三重県におけるブリ豊漁と年齢組成. 第62回ブリ資源評価・予報技術連絡会議報告, 4-5.